



福江正子さん

ふくえ まさこ / 昭和50年生 / 田屋区
仙崎小学校 勤務

子どもたちに夢と希望を

「熱血・新鮮力」

※仕事は 4月から仙崎小学校
教諭として3年2組のやんち
やで給食が大好きな22人の児
童を担当しています。

※気をつけている事は 一人
ひとりの子どもたちが、大事
にされているんだという実感
がもてるようなクラスづくり
を心がけています。

※趣味は 学生時代、サークル
でやっていたストリートダン
スです。

※好きなタイプは 神戸製鋼ラ
グビー部の大畑大介選手が大
好きです。

※好きな言葉は 「夢と希望」
です。自分自身も持ち続けた
いし、子どもたちにも夢と希
望を抱かせるような教育がし

たいと思います。

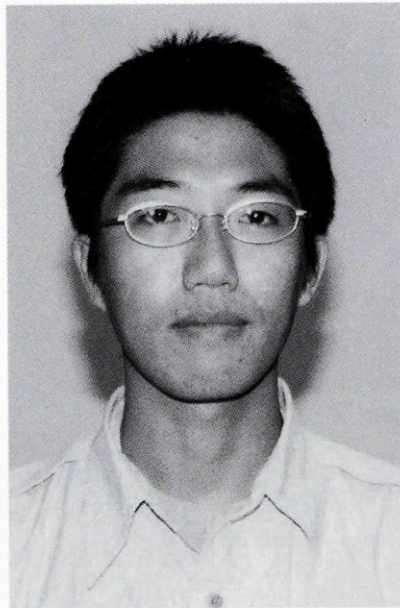
※挑戦してみたいことは 海
が近いので釣りやダイビング
に挑戦したいです。

※自由に一言 まずは子どもた
ちが楽しいと思える教育をし
ていきたい。未熟ですがどう
ぞよろしく願います。



海外での経験をいかして

「ちよつと小耳に」



津田浩利さん

つだ ひろし / 昭和53年生 / 木津区

平成13年7月から約2年間、
青年海外協力隊の一員として、
西アフリカのブルキナファソへ
赴任していた津田浩利さんが帰
国しました。

中学生の頃から漠然とアフリ
カに行つてみたいと考えていた
津田さんは、大学で専攻した農
業の知識をいかし「海外を見て
視野を広げたい」と青年海外協
力隊に参加。農業が主産業のブ
ルキナファソでマンゴーの品種
園の開園を手がけるなど、果樹
の生産指導にあたりました。

「世界で4番目に貧しい国で
すが、人々はいつも明るく笑顔
でした」と印象を話す津田さん。
また「最初は言葉が通じなくて
コミュニケーションが取れなか

った」と苦労話も。
「現地では指導する立場とし
て訪れたが、逆に学ぶことも多
く自分の知識不足や技術不足を
実感しました。海外の経験をい
かし、これからも農業について
さらに勉強していきたい」と抱
負を語ってくれました。



ブルキナファソの人たちと